

多様な性ってなんだろう？

SOGIインクルーシブな環境づくり

ありのままを、あたりまえに。



認定特定非営利活動法人ReBit

ReBit

 ©ReBit All Rights Reserved 投稿者

グラウンドルール

 ©ReBit All Rights Reserved 投稿者

本日の予定

グラウンドルール・自己紹介・団体紹介

環境づくりに関する国内での取り組み

多様な性とは

ReBitメンバーの話

多様な性をもつ子どもたちの今

こんなときどうする？

今日からできること

質疑応答（対面研修会にご参加の方のみ）

まとめ

 ©ReBit All Rights Reserved 投稿者

安心できる場をともにつくるための グラウンドルール

- 撮影、録画、録音はしないでください
- この場には色々な「ちがい」をもった人がいます
それぞれの「ちがい」を尊重しましょう
- 言いたくないことは、言わなくて大丈夫です
- 発言は「私」を主語にして
「ふつうは」「みんな」「日本人は」など、大きい主語に注意してください。

 ©ReBit All Rights Reserved 投稿者

安心できる場をともにつくるための グラウンドルール

● 情報の取り扱いに注意してください

講師を含めて「この場だから」話していることもあります。この場で話している人が、日常生活のすべての場面でそのことを公にしているわけではありません。今日この場で知り得たプライバシーに関わる情報を、勝手に人に広める、SNSに書き込む、などの行為はしないように注意してください。学びや感想を共有していただくことは大歓迎です。

● 質問歓迎です

質問するときは「相手や周囲の人に対して攻撃的・否定的になっていないか」に配慮して、みんなが安心してすごせる空間にしましょう。

団体紹介



繰り返すことで、社会が前進してほしい。

団体紹介

LGBTQもありのまま未来を選ぶよう 「学ぶ・働く・暮らす」ための事業を展開



1. 教育

- 学校/行政でLGBTQ研修を提供 (1234回/18万人)
- 行政や教科書会社と資材制作・監修



2. キャリア

- LGBTQへキャリア支援 (9000人)
- 企業や支援者研修 (451回/6.3万人)



3. 福祉、行政伴走

- 日本初、LGBTQフレンドリーな就労移行支援事業所(障害福祉サービス)「ダイバーシティキャリア」運営

※2023年3月時点

目指したい風景

人はそれぞれにちがいがあること、
性のあり方も多様であることを前提として、
それらのちがいを尊重しあえる社会。

LGBTQであってもなくても
安心できる学校・会社・地域にしたい

学校での取り組みが努力義務に

LGBT理解増進法

(性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律)

SOGIの多様性に寛容な社会の実現に資することを目的とし、
2023年6月に成立。

国および地方公共団体	学校、地域、家庭、職域等での理解促進、 相談体制整備等
事業主	職場内の理解促進、就業環境の整備、 相談機会の確保等
学校	教育・啓発、教育環境の整備、相談機会の確保等

環境づくりに関する 国内での取り組み

国内での取り組みが進んでいる

自治体



- 条例や計画策定
- パートナーシップ制度
- 相談や居場所

企業



- LGBTQ職員を包摂
した職場づくり
- LGBTQのお客様を
包摂したサービス提供

学校



- 教職員の理解促進
- 教科書にLGBTQ記載

※ 保健体育を中心に
全社の教科書に記載
・小学校：2024年度～
・中学校：2025年度～

多様な性とは？

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者版

ソ ジ (エ) (スク) SOGI(E)(SC)

Sexual Orientation 性的指向（好きになる性）

Gender Identity 性自認（自認する性）

Gender Expression 性表現（表現する性）

Sex Characteristics からだの性

「SOGI(E)(SC)」はすべての人の性のあり方を包摂した言葉として、国連をはじめ、国際的に使用されています。

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者版

セクシュアリティ（性のあり方）の軸

性自認

自分の性をどのようにとらえているか

からだの性

からだのつくり、特徴など

※ 出生時の「からだの性」をもとに「法律上の性」が割り当てられる

性的指向（好きになる性）

どのような性別の人が恋愛感情や性的欲求の対象となるか、ならないか

性表現（表現する性）

どのような服装、振る舞い、言葉づかいなどをするか

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者版

LGBTQとは

Lesbian レズビアン

性自認が女性で、性的指向も女性の人

Gay ゲイ

性自認が男性で、性的指向も男性の人

Bisexual バイセクシュアル

性的指向が女性と男性／同性と異性どちらもという人

Transgender トランスジェンダー

性自認と、出生時のからだの性をもとに割り当てられた法律上の性が異なる人

Questioning クエスチョニング

セクシュアリティがわからない、またはあえて決定づけていない人

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者版

LGBTQとは

Pansexual パンセクシュアル

性的指向に相手の性別が関係ない人

Aromantic/Asexual アロマンティック/アセクシュアル

他者に対して、恋愛感情/性的欲求をもたない人

X-gender Xジェンダー（ノンバイナリー）

性自認が男女どちらでもない/どちらかだけではない人

ReBitでは、セクシュアルマイノリティの総称の一つとして「LGBTQ」を使用しています。

セクシュアルマジョリティとは

Cisgender シスジェンダー

性自認と、出生時のからだの性をもとに割り当てられた法律上の性が一致する人

Heterosexual ヘテロセクシュアル

性的指向が異性の人

シスジェンダーかつヘテロセクシュアルの人を

「セクシュアルマジョリティ」といいます。

カミングアウトとアウティング

カミングアウト

本人が自分の意思で、自発的に、セクシュアリティを公にすること。カミングアウトするかどうかが、いつ、誰に、どこまでいうかは、本人の意思を尊重しましょう。

英語の「coming out of the closet」が語源で、カミングアウトしていない状態を「クローゼット」と言います。なぜクローゼットの中いなければならないのか、なぜわざわざカミングアウトする必要があるのか、その背景にある社会構造に着目してみましょう。

アウティング

本人の同意なく、セクシュアリティを第三者に暴露すること。学校、職場、家庭、地域などでの居場所をなくしてしまうことにもつながりかねず、時には命に関わることもある重大な人権侵害となります。悪気がなくても、善意であっても、アウティングになってしまうこともあるので注意が必要です。

SOGIインクルーシブな環境とは

- すべての人の性のあり方が包摂されていて、尊重されている環境
- どのような性的指向・性自認であっても、心理的安全性が保障されている環境
- 一人ひとりが「自分らしくいられる」「居場所がある」「味方がいる」と実感できる環境

多様な性をもつ子どもたちの今
～ReBitによる最新の調査結果をもとに～

教育事業

LGBTQを含めた全ての子どもたちが尊重しあえる学校を

正しい情報を届ける仕組みづくり



子どもたちや先生たちへ
授業や研修を届ける

現場の先生による
実践を教材で後押し

教育事業

LGBTQを含めた全ての子どもたちが尊重しあえる学校を

子どもの状況を明らかにする



生徒1.2万人
教職員1500人調査



どのくらいでしょうか？

学校で困りごとを経験した
LGBTQ学生の割合

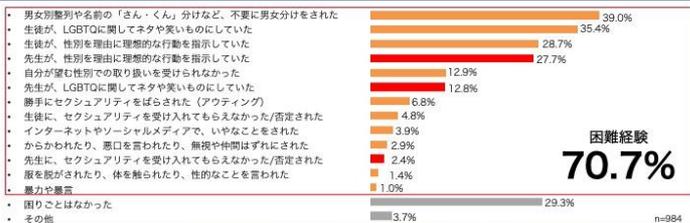
() %

ReBit(2022) 『LGBT子ども・若者調査2022』より

LGBTQ学生は学校での困難経験が多い

LGBTQ子ども・若者調査2022

この1年で経験した、学校での困りごと



LGBTQ学生の**70.7%**が、この1年で学校で困りごとを経験。
うち、**33.6%**が先生が要因となっている。

※アンケート概要：＜回収期間＞2022年9月4日～30日 ＜調査方法＞SNS等インターネットで募集
＜回答数＞2670 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

どのくらいでしょうか？

「学校に行きたくない」と感じた
LGBTQ中高生の全国平均との差

()倍、()倍

ReBit(2022) 『LGBT子ども・若者調査2022』より

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

LGBTQ中高生は不登校のハイリスク層

LGBTQ子ども・若者調査2022

この1年の不登校経験（中高生）

■ 学校に行きたくないと感じた

■ 不登校経験



この1年で「学校に行きたくない」と感じたLGBTQの中高生は**52.4%**
LGBTQの不登校生徒は全国平均と比べ、**中学生が5.4倍、高校生が10.6倍**

※アンケート概要：＜回収期間＞2022年9月4日～30日 ＜調査方法＞SNS等インターネットで募集
＜回答数＞2670 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

どのくらいでしょうか？

セクシュアリティに関する情報を
得たいと感じてから
実際に得られるまでの平均年数

()年

ReBit(2022) 『LGBT子ども・若者調査2022』より

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

LGBTQユースは情報を得にくい

LGBTQの子ども・若者調査2022

セクシュアリティにかんする平均年齢

セクシュアリティに関する情報



セクシュアリティについて情報を得なかった（12.5歳）から実際に得られた（18.2歳）まで、5.7年の差。

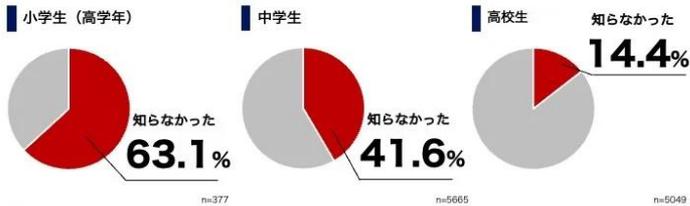
※アンケート概要：＜回収期間＞2022年9月4日～30日 ＜調査方法＞SNS等インターネットで募集
＜回収数＞2670 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

しかし、正しい情報は十分に届いていない

学校における性的指向・性自認に係る取り組み及び対応状況調査（2022年度）

LGBTQや性的マイノリティという言葉を知らなかった



「授業までLGBTQや性的マイノリティという言葉を知らなかった」小学生は63.1%。多様な性を尊重していない言動を多く見聞きしているが、正しい情報は十分に届いていない。

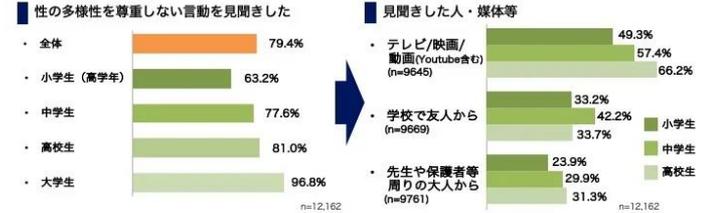
※アンケート概要：＜回収期間＞2022年6月1日～2023年3月31日 ＜調査方法＞SNS等インターネットで募集
＜回収数＞教職員15733名、生徒12,162名 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

一方で、性の多様性を尊重しない言動を学校内外で日常的に見聞きしている

学校における性的指向・性自認に係る取り組み及び対応状況調査（2022年度）

性の多様性を尊重しない言動の見聞きした



性の多様性を尊重しない言動を見聞きした小学生は63.2%、中学生は77.6%。なお、「テレビ・映画・動画 (Youtube含む)」が最も多く、続いて「学校で友人から」が挙がる。

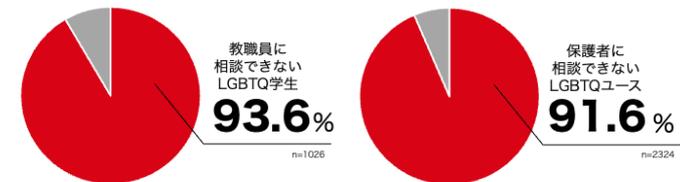
※アンケート概要：＜回収期間＞2022年6月1日～2023年3月31日 ＜調査方法＞SNS等インターネットで募集
＜回収数＞教職員15733名、生徒12,162名 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

LGBTQユースの9割以上は保護者や教職員に相談できていない

LGBTQの子ども・若者調査2022

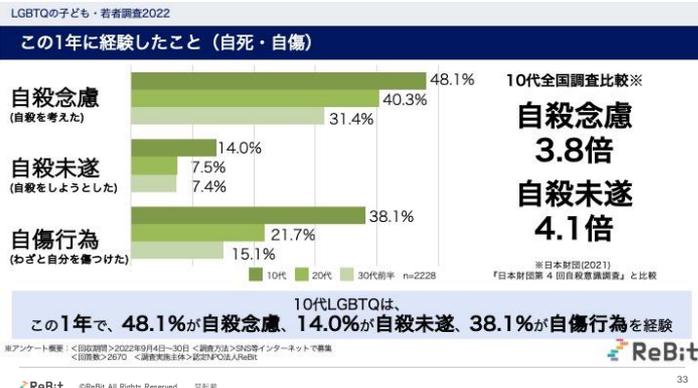
教職員や保護者へ相談できるか



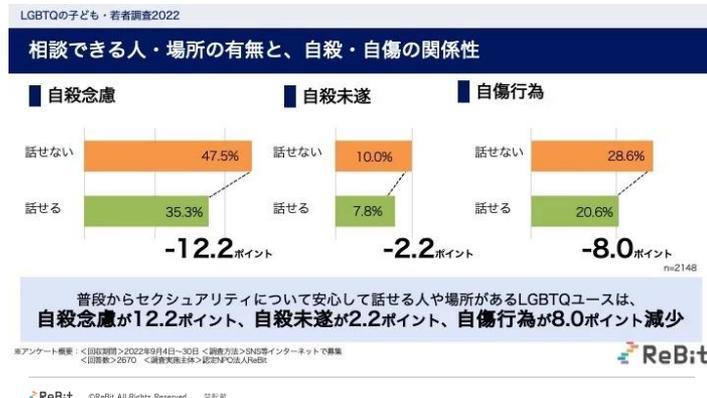
※アンケート概要：＜回収期間＞2022年9月4日～30日 ＜調査方法＞SNS等インターネットで募集
＜回収数＞2670 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

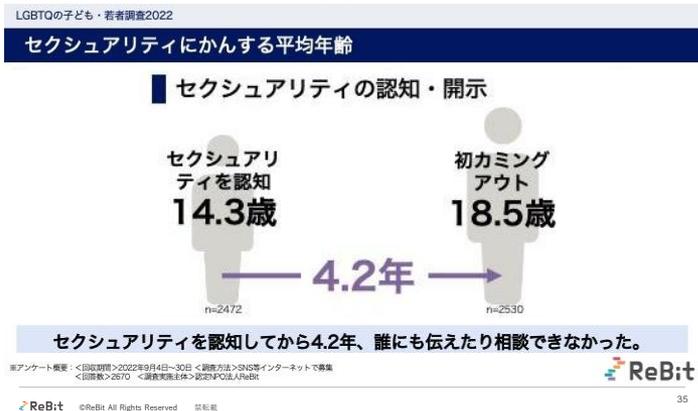
LGBTQは自殺における ハイリスク層でもある



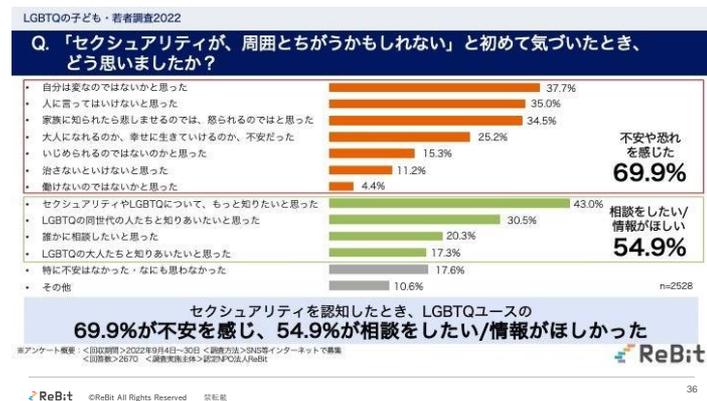
相談できること、が大事



しかし、平均で4年以上 一人で悩んでいる



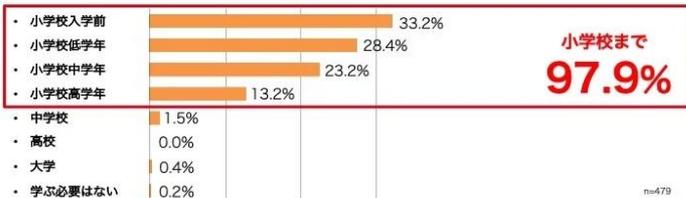
セクシュアリティのちがいで 不安や恐れを感じている



小学校の先生は早期教育に肯定的

学校における性的指向・性自認に係る取り組み及び対応状況調査（2022年度）

LGBTQについて教え始めるとよい時期（小学校教職員）



※アンケート概要：＜回収期間＞2022年6月1日～2023年3月31日 ＜調査方法＞出席授業中に回答依頼
＜回収対象＞教職員1573名、生徒12,162名 ＜調査実施主体＞認定NPO法人ReBit



ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

こんなときどうする？

ケース①

あるクラスでは、個人マークシールを活用しています。
特にルールがあるわけではありませんが、男の子はライオン
などの動物かカブトムシなどの昆虫、女の子はウサギなどの
動物かチューリップなどの花になっています。

名前を呼ぶ際も、特にルールがあるわけではありませんが、
男の子は「名前+くん」
女の子は「名前+ちゃん」
となっています。



よりインクルーシブな環境にするには
どうしたらよいでしょうか？



メモ

次ページからのポイント解説は
まだ見ないでください。

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

ケース①のポイント

- 色やキャラクターは、男女で分けないようにします。
- 「ちゃん・くん」という呼び方も男女で分けないようにします。全員を「さん」または「ちゃん」で統一することもできます。
- 『ジェンダーニュートラルなフリーイラスト』もあります。おたよりなどに使用できるフリー素材で、さまざまな多様性に配慮したデザインとなっています。



「ジェンダーニュートラルなフリーイラスト」
<https://seikyouiku-illustr.com/gender-neutral/>



ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

ケース①のポイント

- 性別によって区別する必要がないものは、できるだけ統一するか、自由に選択できるようにしましょう。
- 地域の小学校と連携して、「名前+さん」で統一している園もあります。また、名前の持つ「性別らしさ」が嫌な人がいることにも注意が必要です。
- 制服、体操服、持ち物や掲示物の色なども、機会を設けて見直してみましょう。

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

ケース②

5歳児クラスで、七夕の工作をすることになりました。

水色のおりがみで彦星様を、ピンク色のおりがみで織姫様をつくります。そして、男の子は彦星様の顔に、女の子は織姫様の顔に、自分の顔写真を貼ります。

もう一方には、ボタンや毛糸を貼りつけて、顔や髪にしますが、子どもたちの間で差が出ないように、各家庭で用意してもらうボタンと毛糸の色は、黒を指定しました。

よりインクルーシブな環境にするには
どうしたらよいでしょうか？



ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

メモ

次ページからのポイント解説は
まだ見ないでください。

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

ケース②のポイント

- おりがみの色や写真の位置など、性別で区別する合理的な理由がないものは、自由に選択できるようにしておくといいです。
- 髪の色や目の色は人それぞれです。多様なルーツをもつ子どもたちもいます。
- ひなまつり、こどもの日、七夕など伝統的な文化に親しむことを否定するものではありません。イベント企画の際にはできるだけ性別で分けないようにしたり、性別を限定しないようにしたりする工夫を検討してみてください。

メモ

ケース③

4歳児クラスで読み聞かせをします。

今日の絵本は子どもたちにも人気がある、お姫様と王子様のお話です。国中の祝福の中で結婚した二人は、たくさんの子どもと一緒に、いつまでも幸せに暮らします。

よりインクルーシブな環境にするにはどうしたらよいでしょうか？



メモ

次ページからのポイント解説はまだ見ないでください。

ケース③のポイント

- 絵本のラインナップの中に、多様な性、多様な家族、自分らしさなどをテーマにしたものがあるか、チェックしてみましょう。
- 登場人物のジェンダー、セクシュアリティ、人種などに「かたより」がないかにも、できるだけ気をつけましょう。
- ひとり親家庭の子ども、里子や養子の子ども、虐待の可能性がある子ども、ステップファミリーの子ども、保護者が同性パートナーの子ども、外国にルーツをもつ子ども、保護者やきょうだいに病気や障害がある子どもなど、多様な立場にある子どもたちが、自己投影できる作品があると理想的です。

メモ

ケース④

3歳児クラスに、女の子を主な対象としたテレビ番組が好きな男の子がいます。その子はおまごどで、いつもお母さん役をやりがります。周囲には、それを当然のように受け入れている子どももいれば「ピンクの服ばかり着て女みたい」とからかう子どももいます。

あなたは内心、「もしかしてこの子はトランスジェンダーなのかな？」と気になっています。家庭では、観たいテレビや着たい服などは、本人の意思を尊重しているようです。

よりインクルーシブな環境にするにはどうしたらよいでしょうか？



メモ

次ページからのポイント解説はまだ見ないでください。

ケース④のポイント

- セクシュアリティは外見や言動の特徴で、勝手に判断できるものではありません。気にかけつつも決め付けないことが大切です。
- 「トランスジェンダーだから配慮する」のではなく、どのようなセクシュアリティの子どもでも、自分らしくいられる環境づくりを目指しましょう。
- いじめ・からかひがあったら、できるだけその場で指導してください。いじめ・からかひをしている子どもだけでなく、その周囲にも、傷ついている子どもがいるかもしれません。
- 「男らしくない男の子」「女の子っぽい男の子」である本人に責任があるかのような発言はせず、どんな理由であれ、いじめ・からかひがあってはならないという姿勢でいてください。

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

子ども本人から相談・カミングアウトを受けたときの対応



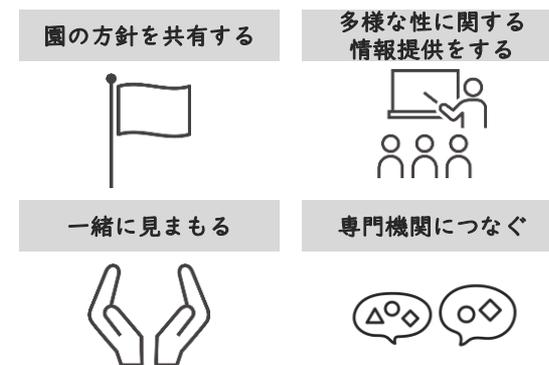
ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

他の大人との情報共有が必要になるかもしれないとき



ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

保護者から相談があったとき



ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

おもな相談窓口・支援団体

○ よりそいホットライン 0120-279-338

(24 時間無料電話相談、4 番が性別や同性愛に関する相談)

○ SNS 相談「生きづらびっと」

○ プライドハウス東京レガシー「ラップアラウンド・サポート」

(LGBTQ や「そうかもしれない」と感じている 24 歳以下の子ども・ユースに向けた相談支援プログラム)

○ LGBTの家族と友人をつなぐ会

○ みんなで保護者会

※ 地域にも、相談窓口や支援団体があります。
本人はもちろん、周囲の人も利用できる
場合があります。詳しくはこちら →



ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

今日からできること

アライになろう

アライ (Ally)

LGBTQの理解者・支援者・味方のこと。

レインボー

6色（赤・橙・黄・緑・青・紫）のレインボーは、LGBTQのシンボルカラー。身につけることでアライであることを表明できる。



ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

メモ

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 禁転載

アライとしてできる工夫

① 大人同士も性別を限定しない表現をする

- ・ 彼氏・彼女 → 恋人・パートナー
- ・ 夫・妻 → 配偶者・パートナー
- ・ お父さん・お母さん → 親御さん・保護者・ご家族
- ・ そちらの女性の方 → 青のストライプシャツの方 など

② 子どもの見た目で性別を決めつけない

- ・ 「ぼく、何歳？」 → 「（目をあわせて）何歳？」
- ・ 「そこの女の子」 → 「そこの黄色いシャツの子」

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者誌

アライとしてできる工夫

④ 「女の子／男の子だから」ではなく「その子であること」を尊重する

「○○ちゃん」「○○くん」といった性別による呼び分けは原則せずに、本人から希望がない限りは「さん」で統一しましょう。

年齢差のある子どもたちがいっしょにいる場面でも、年下の子どもを名前で呼び、年上の子どもを「お姉ちゃん／お兄ちゃん」と呼ぶのではなく、年齢によらず「名前＋さん」の呼びかけをすることもできます。この工夫により、年下の子どもが「自分だけ子ども扱いされた」と感じるものがなくなり、年齢によらず、みんなが主役になれるはずです。

また、「やっぱり女の子だからやさしいだね」「きっと将来はカッコいいお兄さんになるね」といった性別を限定した表現や「女の子／男の子だから」を前提にした言葉は使わず、よくできた行動や発言をほめてあげましょう。

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者誌

アライとしてできる工夫

③ 見た目で関係性を決めつけない

大人の男性（に見える人）と子どもがいっしょにいる時、その見た目から勝手に「お父さんと子どもだ」と判断してしまい、「お父さんといっしょでいいね!」と言ってしまうことがあります。

まず子どもに「今日はだれといっしょに来たの?」と聞いてみて、その子どもが答えてくれた言葉で、いっしょにいる大人のことを呼ぶようにするなどの工夫ができます。

この工夫は、LGBTQ ファミリーだけでなく、ステップファミリーや社会的養護のもとで育つ子どもなど、多様な家族のかたちを包摂する場づくりにもつながります。

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者誌

アライとしてできる工夫

⑤ 「ふつうは」「みんなは」は一步立ち止まってみる

「ふつうは○○でしょう?」「日本人だったら○○だよね!」「みんな○○のはず」といった表現は、その場にいる人の多様性を無視し、ステレオタイプを助長するリスクがあります。

子どもたちへの呼びかけだけでなく、大人たちの会話も含めて、「ふつうは」「みんなは」と聞こえたら、一步立ち止まって、対話の時間を持ってみるようにします。

みんなが異性と恋愛して、結婚して、子どもをもつとは限らず、多様なライフプランがあることを前提としましょう。

多様な家族のかたちがあることを想定しましょう。

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者誌

アライとしてできる工夫

⑥ 大切にしたい視点と姿勢

子どもたちの中だけでなく、同僚、部下、上司、保護者、地域の人などの中にも、LGBTQの人がいるかもしれないという前提で接するようにしましょう。

園に関わる人には、たとえゲストティーチャーや業者などの「外部の人」であっても、園の方針を共有しましょう。

多様な性に関する情報を子どもやその保護者や家族に対して、肯定的に伝えましょう。そのために、いつでも無料で学べるウェブサイトや資料もあります。ぜひ活用してみてください。

子どもに関わる大人の学び

埼玉県 (2023)

「LGBTQについてみんなで学ぼう」
※すべての保護者を対象にした動画です。

日本コカ・コーラ (2022)

「LGBTQ+アライのためのハンドブック」
※企業だけでなく、家庭や学校でも活用できるハンドブックです。

京都市 (2021)

「LGBTQについて知っていますか？」
※思春期の子どもをもつ保護者を主な対象にしたリーフレットです。

大阪市淀川区 (2020)

「LGBTQってなんやろ? : なんか聞いたことあるけど!」
※保護者世代を主な対象にしたリーフレットです。

ヒューマン・ライツ・ウォッチ (2016)

「『出る杭は打たれる』: 日本の学校におけるLGBT生徒へのいじめと排除」



メモ

質疑応答

まとめ

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者誌

「ふつう」ってなんだ？ LGBTについて知る本



主な対象：
小学校高学年～

各書店・ネット通販で
ご購入いただけます

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者誌

改訂新版LGBTってなんだろう？ 自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性



主な対象：
教職員・保護者など
子どもに関わる大人

各書店・ネット通販で
ご購入いただけます



ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者誌

みんなで知りたいLGBTQ+（全5巻）



主な対象：
小学校中学年～

各書店・ネット通販で
ご購入いただけます

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者誌

みんなちがってみんなステキ LGBTの子どもたちに届けたい未来



みんなちがって
みんなステキ

—LGBTの子どもたちに届けたい未来—

高橋うらら ReBit inc



主な対象：
小学校中学年～

各書店・ネット通販で
ご購入いただけます

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 著作権

Ally Teacher's Tool Kit



HPから無料ダウンロードできます。
(教職員版・小学校高学年版・中学生版)

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 著作権

Ally Teacher's School



ReBit ©ReBit All Rights Reserved 著作権

オリジナルレインボーグッズ



クリアファイル



ステッカー



マスキング
テープ



STORESにてご購入いただけます。

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 著作権

『学校できることキット』を作成中

全国の先生200名の声をもとに、LGBTQの子どもたちも
安心安全に学校に通える工夫を集めた実践事例集&相談対応集



ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者版

最新情報はReBitメルマガで配信中

ReBitメルマガ

メールアドレス*

お名前（登録名）*

メルマガ登録のきっかけ*

研修

その他2

教員・教育関係者

登録

教育現場や職場で役に立つ
最新情報を配信中です。
ぜひご登録ください！



ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者版

まとめ

- すべての子どもにとってインクルーシブな環境をつくる、その方法の一つとして、多様な性の視点があります。
- 「一部のマイノリティのため」ではなく「みんなのため」に、多様な性を前提とした環境づくりに取り組みましょう。

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者版

ご清聴ありがとうございました

ありのままを、あたりまえに。



認定特定非営利活動法人ReBit

ReBit ©ReBit All Rights Reserved 読者版